

【CLEAN WATER PROJECT 応募サンプル】

2024年インカレ ごみ拾いイベント

公益社団法人 日本ローイング協会 事務局



実施概要

【主催】 公益社団法人日本ローイング協会

【共催】 戸田市

【日時】 2024年9月8日（日）
15：00～16：00

【要領】 ①ご来場のお客様に、観覧席から戸田公園西口駅までの道のりで、ごみ拾い活動をお願いした。

②観覧席にて、ご希望の方にごみ袋と軍手をお渡しした。

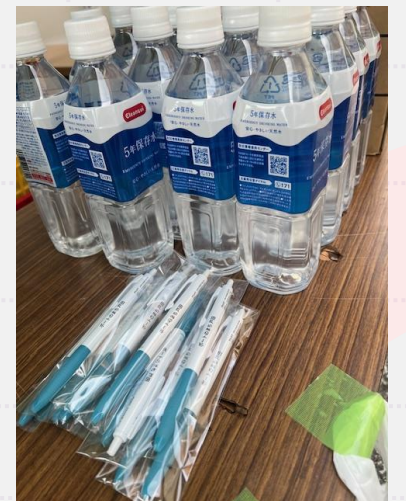
③ゴールの戸田公園駅西口広場で、集めたごみと粗品を交換

* 粗品

「協賛社ご提供の5年水」150本

「戸田市様ご提供のボールペン」200本

* 海洋プラスチックごみを再生し原料とした素材



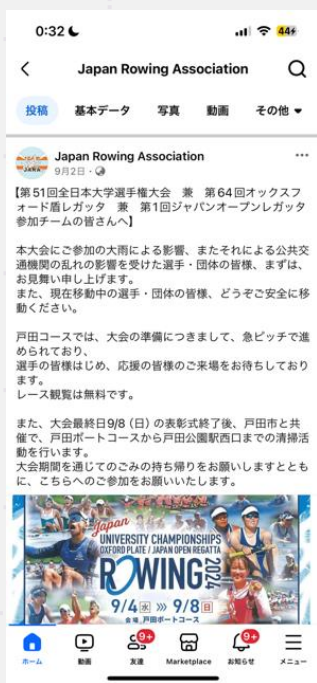
目的

お世話になったレース会場としてだけでなく、コースをきれいに維持してくださっている地元の皆さんにも何かの形で、普段のお返しがしたい。

将来的には、ローイングのレース会場では、ごみの持ち帰りは当たり前である文化になることを目指したい。

周知方法

- ・ 協会Facebookにてインカレポスターにイベント告知文を記載。各大学に協力を呼びかけ、大学紹介と共に、イベント告知。
- ・ 大会開催時の会場アナウンスでのご案内



所感

大会時にご観戦のお客様に、身の回りのごみを出してもらうことは、声掛けをすればよくできた。

ごみ袋をもらって観客席から駅までの道のりをごみ拾いしていくことを全体に周知し、参加を促すことは、かなりの熱量を持って臨んでいただく必要があり、参加してくださった方には、感謝しかない。残念なことに、ごみ袋を持ってきてくださった方々に、粗品が品切れになってしまい、申し訳なさど数量の見誤りが悔やまれる。



今後の課題

戸田ボートコースにご観戦にお越しの皆様には、ぜひごみの持ち帰りをお願いしたいと思っている。

お世話になったレース会場としてだけでなく、コースをきれいに維持してくださっている地元の皆さんにも何かの形で、普段のお返しをしたいところから始まった本企画。毎年、インカレでは、戸田公園周辺の自動販売機に付属の、飲み終わったペットボトル・缶を入れる回収ボックスに、分別がされていないごみが入っていたり、会場に持ち込んだごみが捨てられている。

これを、協会事務局と戸田公園管理事務所の協力で廃棄している。昨年の大会期間中の処理数は、90リットルのごみ袋で90袋を数え、重さに換算すると約300kgにも。

少しでも、この数量を減らし、来た時よりもきれいなレース会場であり、大会終了後の練習が気持ちよくできる戸田公園を、みんなの手で作っていききたい。

将来的には、ローイングのレース会場では、ごみの持ち帰りは当たり前である文化になることを期待している。

来年も皆様のご協力をお願いいたします

“適切な”

穴があったら入りたい。



ゴミ側も、恥ずかしいです。
ゴミのためにも「正しいところへ、正しいゴミ」を。
分別にご協力お願いいたします。

